

藤沢市剣道連盟 対人稽古再開に向けたコロナ感染症予防ガイドライン 早見表

改定：令和4年8月1日

作成：令和2年8月22日

	項目	留意事項
1	施設利用時の心得	① 三つの密（「密集」「密接」「密閉」）を避ける。 ② 以下の項目に該当する者は参加見合わせる。 ・基礎疾患がある者 ・体調不良（発熱、咳、咽頭痛、味覚異常など）の者 ・同居家族、身近な知人に感染疑いのある者 ・過去14日以内に海外から入国した者 ・藤沢市剣道連盟の支部に所属していない者 ③ 大声での声援、近距離での会話等を避ける。 ④ 待機中もマスクを装着する。 ⑤ 手指等の消毒は各自、こまめに行う。 ⑥ 飲み物は回し飲みせず、飲み残しは持ち帰る。（施設内で廃棄しない）。 ⑦ 見学者は原則入館しない。 ⑧ 参加者の保護者は十分な広さが確保できない場合館外で待機する。
2	準備	① 入館時に氏名、体温、連絡先を参加者名簿に記載し、了解を得て入館する。 ② 施設の感染防止対策運用定員を超えないこと。超える場合は2部制などの工夫をすること。定員数は次の通り。 ・秩父宮・武道室（全）：70名、 ・秋葉台・第2体育室（3F）：70名、秋葉台・第3体育室（全）：50名 ③ 各自の荷物置き場、着替えや防具装着をする場所（マイスペース）は人との距離をとる。各自、マイスペースの除菌など安全確保に努める。 ④ 会場の換気に努める（窓や扉の解放、換気扇の作動、等）
3	稽古にあたって	① 準備体操、素振り等は原則一列同方向で行う。 向かい合い、2列以上の場合は2mの距離を取る。 ② 感染状況によっては、床での正座、座礼はおこなわず立礼とする。 ③ 元立ちの間隔は2メートル以上とる。テープで目印を付けることも考慮。 ④ 必ず「面マスク」を着用する。 ⑤ 面装着時はマウスシールドを必ず着用する。60歳以上の者は、加えて眼の前部も覆うアイシールドの着用を推奨する。 ⑥ 状況によっては発声を抑える。鏝競り合いは速やかに分かれる。 ⑦ 稽古時間は1時間以内を目安。 （ア）稽古は20分以内毎に休憩を設ける。 （イ）常時換気できない場合は、休憩時に換気を5分程度行う。
4	稽古の後に	① 稽古後も会場を退出するまでは常時マスクを装着する。 ② 個々の礼を行う際は、2mの間隔をあける。 ③ 面マスクをビニール袋に入れて持ち帰り、洗浄、除菌を行う。 ④ 剣道具（特に面、小手）、シールドは、アルコール噴霧等により除菌する。 ⑤ 剣道着・袴・手拭い・竹刀は稽古終了の都度、洗濯や除菌が望ましい。 ⑥ 手洗い、うがい、アルコールによる手指の除菌を行う。 ⑦ 稽古後は足裏の洗浄後に除菌することが望ましい。
5	後片づけ	① 備品、ドアノブなど触手部の消毒をする。（作業ごみは持ち帰る） ② 稽古後は必ず備え付けのモップ等で清掃する。 ③ 各自の荷物置き場、着替えや防具装着したマイスペースの除菌を推奨する。 ④ 忘れ物（面マスク、手拭など）は廃棄する。（連盟では保管しない）
6	使用者情報の把握	① 感染者が出た場合に追跡を可能にするための措置として、施設利用者の情報（氏名・連絡先）を把握しておく。 ② 参加者名簿は1か月間保管する。（指導・教育部会長） ③ 行事参加後2週間以内に発症した場合、速やかに市剣連事務局に連絡する。